

風話鈴香

発行所

尼崎市小中島 1・1・1 8

社会福祉法人

阪神共同福祉会 園田苑

Tel 06-6493-3731

発行責任者

理事長 中村 大蔵

私達の目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

園田苑開設30年の春 “不易流行”で前進を

食と季節感に

こだわりを

2018年が始まりました。
良い天気にも恵まれた中、元旦恒例の新年の会を行いました。

皆さんの食卓には、厨房職員が年の瀬に腕によりをかけて作ったおせち料理が並びました。今年は、少し趣向を変えて、おひとり様専用おせちを皆さんの数だけ用意して楽しんで頂けるようにしました。皆さんが使う祝箸は、今年もボランティアグループ「園」の岡田さん特製でした。

例年通りの朝昼ごはん兼用のおせち料理ということも手伝ってか、多くの方がペロっとご自分の分を召し上がられました。眩しいぐらいの陽光の中、皆さんのお顔を見ながら迎えた元旦。今年も皆さんにとって、良い年でありますように。



地域とともに

新年を祝う

園田苑の1月3日といえば、こちらも毎年恒例の「おせちの会」。

今年も園田苑支援センターで盛大に執り行われました。デイサービスの利用日の皆さんをはじめ、園田南地域包括主催の地域の皆さんに向けた定例の催しに普段参加して下さっている方々の参加もありました。

今年の変わり種料理は、「しし鍋」。職員持ち寄りのサンドイッチやフルーツポンチなども並びました。

ホームヘルプを利用して下さっているイノさんは、着物をバッチリと着こなしてのご参加を頂きました。ハレの日に着物を着る、その姿勢に学ばせて頂くことは多いと思います。



地域の催しにも積極的に参加

司会の清水ケアマネによる持ち込み企画の「ロシアンシークリーム」では、物部センター長の普段は見られない表情で笑わせて頂き、これは春から笑福万来、縁起の良い会となりました。



積極的に参加

1月14日阪神医療生協小中島支部の新年会に参加させていただきました。毎年、入居者と職員で参加させていただいています。今年は清海さんと御一緒にさせていただきました。園田苑でもお馴染みの「祥の会」（大正琴のグループ）の伴奏に合せて「一月一日」を歌ったり、抽選会のくじを引いたり、最後は皆さんで輪になり、炭鉾節を踊りました。

清海さんも「踊るわ」と踊りの輪に入らせていただきました。



日頃園田苑にかかわってくださっているボランティアさんや地域の方も大勢参加され、今年1年も健康で楽しいことをたくさんできればいいなと思います。来年の新年会には舞台で何か披露できるように頑張りたいと思います！



震災復興公営住宅（コレクティブ）を

再考する時期

理事長 中村大蔵

新年早々に起きた痛ましい事故。

阪神淡路大震災の復興住宅として建設された、久々知シルバーハウジング（市営）で火災が発生し、独居の女性（88）が死亡した。

この住宅はコレクティブハウジングとして、鳴り物入りで建設された。コレクティブとは、その住人が団らん室など共有空間を利用してふれあい、時には一緒に食事をするなど、協同で暮らしを楽しむ生活様式である。だから、各部屋に風呂があっても、広い共同浴室まで増設した。

だが、入居が開始された一九九九年から今日まで、最初のわずかの時期を除きそのような風景は全く見られない。

そもそも、高齢者専用住宅として建設されたシルバーと前述したコレクティブを、それぞれの目的が相反するものであるにも拘わらず合体させたことに問題があった。

しかも、当初配置されていたLSA（生活援助員）制度は行財政のひっ迫下で、その任務は大きく制約されたままである。一方、入居者の高齢化と孤立はますます深刻な問題として増大している。

ここでも震災は風化している。コレクティブのありようをもう一度考え直す時期である。



入居者忘年会

12月16日(土)恒例の入居者忘年会は、柿原さんの乾杯の音頭で幕を開けました。

特養家族会の、理事長や職員を巻き込んでの大型時代劇「水戸黄門」、芸達者なデイ職員による2人羽織→尼崎のおっちゃん達による六甲おろし、包括の新職員をフューチャーしたズンドコ節、2017年の余興といえばコレ!の特養職員によるブルゾンちえみ、アブナイ2人によるドジョウ掬い、メは貫禄のボランティアグループ「園」による銀座カンカン娘で、忘年会は華やかに盛り上がりしました。

ご家族の皆さんも多数参加して下さい、こういった行事で一緒にお食事をして頂いている時の喜んでらっしゃる入居者の姿を見る機会は大切だと再確認することが出来ました。

次の大型行事は春のお花見です。満開の桜の下で、素晴らしい天気で皆さんとお花見弁当を食べられることを祈念して、忘年会はお開きとなりました。

園田苑もちつき

12月28日園田苑でも、もちつきを行いました。

特養の入居者も、デイサービスや小規模多機能の利用者の皆さんも駆けつけて、銘銘にもちをついて頂くことが出来ました。

入居者の福井さんの息子さんの素晴らしいフォームには、私も含め、皆さん感心されていました。小規模多機能での実習が先日終了した関西保育福祉専門学校の生徒も4名ボランティアに駆けつけてくれて、初体験とは言いながら上手に杵を使っていました。

お水取り、つき手、こね手、丸め手の素晴らしい連携もあり、きめの細かい美味しいもちを完成させることが出来ました。園田苑では、もちつきが終わるといよいよお正月準備が本格化。良い年をお迎え出来ますように。



グループハウスもちつき

12月17日、グループハウスでももちつきを行いました。今年用意したもち米は25kg。尼崎ロータリークラブ様から頂いたもち米も加えて計15臼つきました。

当日は、ボランティアの皆さんの他にも、子ども食堂に来てくれている子たちや、ご近所さん。元豆腐屋のご主人も来て下さり、もちをたくさんついて頂きました。

つきたてのモチは、用意していたトン汁の中に入れたり、振る舞いモチを、入居者と一緒に作ったミニしめ縄をセットにして皆さんにお配りすることが出来ました。

職員だけではとても出来ないことを、皆さんに手伝って頂き、今年も無事に終わることが出来ました。2018年もよろしくお願いします。



獅子舞い

ボランティアグループ「園」寺前さんのご紹介で、1月2日若獅子会様に新年の舞を披露していただきました。子供たちの力強い太鼓やかわいい踊り、笛の音に合わせて獅子が勇壮に舞う姿に「すごいな〜」「めでたいな〜」と声が上がりました。舞のあとは今年1年の健康を祈念して一人一人の頭を獅子に噛んでいただきました。地域の中で伝統行事を守る活動をされている若獅子会様と御縁をいただきありがとうございました。



(法人理念)

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切にし
地域福祉の担い手となる